

フランクフルト  
サケ watching in Frankfurt 2008



- ①
- ダウンタウンにある人気の居酒屋風日本レストラン。鍋を箸でつくドイツ人グループ、よく見ると女性が肉を手でつかんで鍋に入れてる！オイオイ！！
  - お酒のラインナップは「久保田」「李白」のほか、カリフォルニア「松竹梅」（一升壇に似ているが1.5リットル壇。後ろの酒燗器も）。どの酒も旨かった。
  - ドイツは、ヨーロッパで一番、清酒輸入量が多い（2007年）。また梅酒も人気が高い。（昔からチョーヤさんの現地法人がある）



- ②
- カリフォルニア「松竹梅」の品名表示は当然ながら「SAKE」。ほかに、EU域内の輸入業者、Lで始まるロット番号などの表示が必須。
  - 「Wandering Poet（さまよえる詩人）」の英文サブ銘柄、グッド・ネーミングですね！
  - 「サッポロビール」は日本製！（日本の大手ビール各社はヨーロッパでは委託醸造が多い）それにしても、李白は720mlだしビールは334mlだし、少し前まで33cl、37.5cl、70cl、75cl、、、と決まった容量の規制があったはずだが、最近では自由になったよう。

- ③
- 駅前のメインストリートにて。店名（Yan Jing）は明らかにチャイニーズだけれど、メニューはShabu Shabu、Sushiなど日本料理中心。酒は「菊水」とカリフォルニア「大関」（1.5リットル壇）。
  - フランクフルト駅構内には、もちろん！「スシ・テークアウト」があります。メニューはドイツ語と韓国語で、日本語はなし。韓国惣菜や韓国カップ麺も販売。

- ④
- イエローページ（電話帳）でフランクフルト・アム・マインの日本レストランを数えてみると35軒。前述のとおり、チャイニーズやコリアンでジャパニーズを出す店が多数あるので、実際はもっと多いと思います。
  - 因みにお店の名前は、My Sushi、Sushi Star、Sushi Live、Sushi Circle、Sushi Moto、Sushi Boyなどなど、「スシ」オンパレード。ドイツ人にはわかりやすい？

